

第六十四回帝國議會
衆議院

造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案外二件委員會會議錄(記)第九回

會議

昭和八年二月十七日(金曜日)午後一時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 金光 庸夫君

理事堀川 美哉君 理事鷺野米太郎君

理事池田 敬八君 理事矢野庄太郎君

理事中川 觀秀君

兼田 秀雄君 壽原英太郎君

武田德三郎君 篠原 義政君

青田 勝晴君 豐田 牧君

水久保甚作君 高見 之通君

沖島 鎌三君 櫻井兵五郎君

前田房之助君 內藤 正剛君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 高橋 是清君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏參與官 上塚 司君

大藏省主計局長 藤井 眞信君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

樺太事業公債法中改正法律案(政府提出)

○金光委員長 是ヨリ開會致シマス、昭和八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、朝鮮事業公債法中改正法律案、樺太事業公債法中改正法律案、之ヲ議題ニ供シマス、前會ニ引續イテ質問ヲ許シマス——櫻井君

○櫻井委員 チョット大藏大臣ニ御質問申上ゲタイノデアリマス、モウ既ニ此問題ニ關係致シマス豫算ガ殆ド滿場一致ヲ以テ衆議院ヲ通過致シテ居ルノデアリマス、ソレノミナラズ豫算委員會竝ニ貴族院ニ於テモ多ク論議セラレテ居リマス問題デアリマスカラ、細カイコトヲ御尋シヨウト云フ考ハ一

切持タヌノデアリマス、唯此時局ノ上カラ考ヘマシテ、現在竝ニ將來ノ國家ノ財政ニ關スル大藏大臣ノ御態度ニ付テ今少シク加減ヲシテ戴ク方ガ國家ノ爲メ私ハ幸ヒデナイカト思ヒマス點ガアルノデアリマス、ソレハ大藏大臣ノ仰セラレルノニハ將來ノコトハ明言出來ナイ、何トナラバ國際關係ニ於テモ、亦内地ノ事情ニ於テモ見透シノツカナイコトガ多イ、此見透シガツカナイ時ニ於テハ將來ノコトハ餘リ言ヒタクナイ、例ヘバ増稅ノ問題ニ致シマシテモ、之ヲ大藏大臣ハハッキリ仰シヤラナイ、行政ノ整理ノ問題ニ付テモ見透シノツカナイコトガ多イカラ、之ニ付テモハッキリ言フコトハ出來ナイ、斯ウ云フ御答デアリマス、増稅ノコトハ見透シガツカナイコトガ多イカラ明言出來ナイト言ハレ、バ理論ハ通りマス、ガ併シ行政整理ノ如キハ見透シガツカナイト大藏大臣ノ仰セラレル點ハ、却テ將來行

政整理ノ餘地ガアレバ急イデヤラナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘラレル所ノ理由ニハナリハシマセヌデアリマセウカ、何レニシマシテモ、大藏大臣ノ御態度ハ將來ノコトニ付テハッキリ財政計畫モ何モ言ハナイト云フ御考ノヤウデアリマス、成程色々ノ事情カラ考ヘマシテ、人心ノ動搖ノシ易イ時デアリマスカラ、大藏大臣ガ左様ナ態度ヲ御執リニナルト云フコトハ、其處ニ又相當含蓄セラル、意味モアルノデアアラウカト、一應ハ吾々モ大藏大臣ノ御考ヲ玩味ヲ致シタノデアリマス、併ナガラ何ト申シマシテモ、滿洲ノ野ニハ一部ノ國民ガ血稅ヲ拂ッテ國家ノ爲ニ戰ッテ居ルノデアリマス、何レニシテモ此場合凡テノ國民ヲ舉ゲテ眞劍デアアルコトガ、此時局ニ對スル最モ重大ナ要點デアアル、私ハ斯ウ考ヘルノデアリマス

サウ致シマスレバ一方ニ於テハサウ云フ國家ノ爲ニ血稅ヲ拂フ者ガアルト同時ニ、

財政ノ將來ノ實際ハ斯ウデア、増税モ避クルコトガ出來ナイ、行政ノ整理モ餘地ガアレバ是ハドン／＼ヤラナケレバナラス、サウシテ國民モ有ユル覺悟ヲ決メテ此時局ニ當ッテ行カナケレバ、國難ノ打開ハ出來ナイ、若シ實際ガサウデアレバ之ヲ實際ノ儘ニ指導セラル、ノガ相當デ、私ハ現内閣ニ於テハ大藏大臣ニ依テノミ之ヲ求メルコトガ出來ルト言ッテモ過言デナイカト思フ、何トナレバ他ノ閣僚ハ國務大臣トシテ全國務ヲ御考ヘニナッテハ居リマセウケレドモ、動モスレバ自分ノ方ノ立場ニ偏セラレル傾キガナイトモ限ラナイ、大藏大臣ハ國家ノ全般ヲ御眺メニナッテ居ル、全般ノ問題ガ自分ノ手許ニ寄り集ッテ居ルノデア、茲ニ於テ避クベカラザル問題ニ付テハ國民ニ一大覺悟ヲ決メサシテ行カナケレバナラス、サウシテ行ッテ打開ヲシナケレバナラス、併シソレガ幸ヒニシテ見透シノツカナイ中ニ好イ事ガ出來テ、樂ニ時局ノ打開ガ出來レバコンナ幸ヒナコトハアリマセウケレドモ、

最モ惡イ場合ヲ豫想シテ國民ニ覺悟ヲ決メサシテ、國民ヲ率キテ行クト云フ態度ガ此内閣ニ於テハナケレバナラス、之ヲ私ハ大藏大臣ニ於テ求メルコトガ出來ルト思フノデアリマスガ、餘程何カ別ニ深イ御考ガ

アッテ、ア、云フ議會開會以來ノヤウナ御態度ヲ執ッテ居ラレルノデアリマスガ、ソレトモ大臣ノ御言葉通りニ解釋シナケレバナラスノデアリマスガ、私ハモウ少シ具體的ニ國民ニ避クベカラザルコトヲ明示シテ、サウシテ國民ニ覺悟ヲ決メサシテ御率キニナル方ガ宜シイ、斯様ニ考ヘマスガ、此態度ニ付テ大藏大臣ノ所信ヲ一應承リタイト思フノデアリマス

○高橋國務大臣 御希望ハ洵ニ御尤デアリ

マスケレドモ、少シク大藏大臣トシテノ立場モ御推察ヲ請ヒタイノデアリマス、只今御話ノ如キコトハ、抽象的トシテハ無論何人モサウ考ヘナケレバナラス、此儘デ行ク譯ニ行カヌ、財政ノ建直ヲセネバナラス、勿論増税モシナケレバナラス、隨テ行政ノ整理ヲシテ政費ノ節減モシナケレバナラス、是ダケノコトハ誰デモ言ヘルガ、之ヲ今日具體的ニドウスルト云フコトハ、其時ノ政府ガ宜シキヲ得タ時ニ於テ初メテ言フベキコトデアッテ、今直チニ實行セヌコトヲ豫メ言フコトハ決シテ利益デハナイト私ハ思フ、殊ニ今ノヤウナ大問題ハ、他ノ閣僚ハソレ／＼自分ノ受持ノ仕事ヲ持ッテ居ルカラ、大藏大臣ニシテ初メテ言ヘルコトダト云フコトデアルガ、私ハサウハ考ヘナイ、

大藏大臣ハ矢張國務大臣ノ一人デアッテ、兎ニ角時ノ總理大臣ノ施政ノ方針ニ從ッテ之ヲ助ケテ行クノデア、一國ノ總理大臣ト云フ者カラ大體國民ニ對シテハ其時ノ重要ナル施政ノ方針ニ付テハ明瞭ニ説明ガアルモノデア、ソレデ議會開會ノ時モア、云フ風ニ總理大臣ノ演説ガアッタ譯デアリマス、其演説ニ基イテモット具體的ニモノヲ言ヘ、斯ウ云フ御希望ニナッテ來マスト、具體的ニ言フノハ、之ヲ實行スル時ニ言ッテ

國民ニ懇ヘ、國民ニ覺悟ヲサセナケレバナラス、未ダ此實行ニ著手セヌ中カラシテ言ウテ居ルト、國民ノ精神ヲ作興シ、奮發サシテ、サウシテ一致共同シテ此航海ノムヅカシイ所ノ海ヲ渡ッテ行カナケレバナラスト云フ覺悟ヲサセルト云フコトニ付テハ、具體的ニ其事情ヲ言ハナケレバナラス、此事情ヲ言フノハ、直面シタ事情ハ言ヘルケレドモ、或ハ斯ウナリハセヌカ、或ハ斯ウシタ變化ガ起リヤシナイカト云フコトノ想像ニ過ギナイ所ノ將來ノ事情ヲ述ベテ、將來國民ノ覺悟ヲ促スト云フコトハ、是ハ私ハスベキコトデナイト思フ、ドウナルカ分ラヌ、見透シノ付カヌト云フノガ本當デア、外交上ノコトニ付テモ見透シハ付カヌ、併シ外交上是ダケノコトハ言ヘル、如

何ナル事ガアッテモ我國ハ元々正義ニ立脚シテ政事ヲ執ル、外交モ其方針デ進ンデ居ルノデスカラ、國民トシテハ如何ナルコトガアッテモ正義ノ氣ヲ離レナイヤウニ覺悟ヲシナケレバナラス、是ダケノコトハ不斷ニ覺悟シナケレバナラヌト云フコトハ言ヘルガ、其外ニ今度ノ負擔ノ問題、即チ増税、税制ノ問題、政府デハ斯ウ云フ行政ノ整理ヲスルト云フコトヲ、ドウモ具體的ニ此際言フノハ、マダ其時ガ來テ居ラヌト私ハ思フ、故ニサウ云フコトノ具體的ノ御答ハ控ヘタ方ガ宜カラウト思フ、宜シク其時ノ變化ニ依リマシテ——例ヘバ行政整理デア

ガ、私ハ是マデモ他デモ言ウタ、從來ノ如キ行政整理デハ駄目ダ、天引デヤルトカ、或ハ人件費ヲ減ストカ、ソナナ姑息ナコトデハ今度ハイカヌ、行政ノ機構カラ改メンケレバナラス、此處マデハ言ヘルダラウ、ソレカラ又増税ノ計畫ニシテモ、財政ノ計畫ハ唯國稅ダケノコトヲ考ヘテハイカヌ、地方ノコトモ考ヘナケレバナラス、サウシテ中央地方ノ負擔ニ付テ十分ニ根本カラ改正ヲ行ハンケレバナラス、是ダケノコトハ言ヘル、併シ之ヲ如何ナル方法、如何ナル手段ニ出ルノカト云フコトハ、マダ今日言フベキ時デナイト斯ウ思ッテ居ル、將來ノコ

トニ付テハ大體ノコトハソレデ御分リニナ

ラナケレバナラス、ソレヨリ以上分ラウト

云フコトハ、勿論私見ハナイノデハナイ、

此私見ヲ今我が在職ノ人間デナケレバ言ヘ

マスケレドモ、職ニ在ッテ今日マデ閣議デ

決ラスコトヲ、自分ノ私見ヲ恣ニ述ベルト

云フコトハ差控ヘナケレバナラスト思フ

○櫻井委員 事務的ニ御考ヘニナレバ、今

ノ御答辯ノ通りデアリマスガ、私ハ唯國民

ヲ率キテ行クト云フ上カラ、ソレガ國家ノ

爲ニ善イヤウニ考ヘテ、其御答辯ヲ求メタ

ノデアリマスケレドモ、ソレニ該當スル御

答辯ガアリマセヌカラ、是ハ此程度ニ止メ

テ置キマス、閣議デ決メナケレバナラスコ

ト、云フコトハ、官制上事務的ノコトデア

ル、國民ガ今ドウ云フ考ヲ有ッテ居ルカ、之

ヲ睨ンデ率キテ行カナケレバナラス、其點

ニ於テ一番ノ不安ハ何デアアルカト言ヘバ、

財政經濟ト國際問題、此國際問題ト財政經

濟ノ問題ニ付テ、誰カガ國民ヲ率キテ行カ

ナケレバ、此内閣ノ存在ノ意義ガアリマセ

ヌ、此點ニ對シテ遺憾ハアリマセヌカト云

フコトヲ私ハ御尋スルノデアリマスケレド

モ——私共ハ今ノ御態度デハ遺憾デアルト

思ッテ御尋スルノデアリマスケレドモ、併シ

是レ以上御尋スルコトハ此場合之ニ止メテ

置キマス

ソレカラモウ一點ダケ御尋致シタイコト

ガアル、世間デハ斯様ニ考ヘテ居ル、私ハ

大藏大臣ヲ輕率ダトカ何トカ云フコトハ疑

ヒタクナイノデスケレドモ、併シ是ハ又大

藏大臣個人ニ關スルコトデアリマスレバ、

此場合何モ彼此レ申上ゲル必要モナイノデ

アリマスケレドモ、サウ云フ誤解ガアレバ、

是ハ國ノ爲ニ宜シクナイ、斯ウ云フ點カラ

ソレヲ明瞭ニシテ置キタイト思ヒマスル一

點ハ、何ト申シマシテモ將來ノ國ノ財政ノ

上ニ於テ、軍事費ト云フモノガ大問題デア

ル、兵備改善費ハ比較的ハキリシテ居ル、

併シ海軍ノ第二次計畫ハ頭ヲ出シテ居ル、

後ノコトハ希望ダト云フコトニナッテ居リ

マスガ、頭ヲ出セバ希望デアッテモ、其希望

ハ相當認メラレナケレバナラスノデハナイ

カ、是ガ財政計畫ノ將來ニ對スル大問題デ

アル、之ヲ御決メニナル時ニ、新聞紙ノ傳

フル所デハ、大藏大臣ハ敢然トシテ斯ノ如

キ龐大ナルモノヲ認メルコトガ出來ナイト

云フ態度ヲ御執リニナッテ云フコトハ、最

初新聞紙ニ傳ッタ、是ハ大藏大臣ガ相當ノ御

考ヲ以テ慎重ニ御折衝ニナルモノト一般ガ

期待シテ居ッタと思フ、所ガソレガ急ニ轉化

シテ大藏大臣ハ直グ御認メニナル、斯ウ云

フコトガ直チニ傳ヘラレタ、而シテ其内容

トシテ一般ニ傳ッタ所ニ依レバ、餘リ之ヲ他

ノ閣僚トモ慎重ニ練ルヤウナコトナシニ、

大藏大臣ト陸軍大臣ダケデ、陸軍大臣ノ要

求ヲ大藏大臣ハ輕率ニ御認メニナッテシマッ

テ居ル、斯ウ云フコトヲ傳ヘテ居ルノデア

リマスケレドモ、是ハ大問題デアルカラ、

私ハ閣僚ガ屢之ニ對シテハ十分ニ練ラレ

ルコトガ相當デアッタラウト思フ、マア斯ウ

云フ風説ハ間違デアラウト思ヒマス、思ヒ

マスケレドモ、サウ云フ風説ノアル以上ハ、

大藏大臣ガ之ヲ御認メニナッタ信念ヲ天下

ニ明ニシテ置クコトガ、洵ニ國政ガ明ルク

ナッテ宜シイ、斯ウ考ヘマス、要スルニ之ヲ

一言ニシテ申セバ軍事豫算ヲ御認メニナル

ノニ、餘リニ氣樂ナ御認メヤウデハナカッ

タカ、能ク慎重ニ御考ヘニナッテ、他ノ閣僚

トモ十分ニ御練リニナッタ結果デアアルカド

ウカ、此疑ニ對シテ大藏大臣カラ御答辯ヲ

得テ置キタイト云フコトガ、此質問ヲ起ス

趣旨デアリマス

○高橋國務大臣 世間ノ噂ト云ウテ御話シ

ニナッタコトハ全クナイ、八年度ノ豫算ニ計

上シテアル所ノ軍事費ニ付テハ、是ハ閣議

デチャント決ッタモノデアアル、其後ノ議會ニ

於テ起ッタ問題ハ、私ハマダ相談ヲ受ケテ居

ハシマセヌ、ソレヲ世ノ中デ決ッタト言フ

ナラ、ソレハ全ク嘘ナンデス、豫算編成ノ

當時ニ於テハナカッタガ、ソレカラ議會ガ

始ッテカラ、何カ海軍ノ第二次計畫ガ頭ヲ出

シタト云フコトハ、從來アル所ノ第二次計

畫ニ含ンデ居ルモノガアルト云フ意味ダト

云フヤウニ私ハ聞イテ居ル、豫算編成ノ時

ニハサウ云フ事ハナカッタノデアリマス、ソ

レデ世間デハ既ニ頭ガ出タカラ豫テアル所

ノ第二次計畫ガ認メラレタノダラウ、斯ウ

思フノハ是ハ間違デアアル、海陸軍大臣ト雖

モ、其今後ノ施設ニ付テハ更ニ大藏大臣ト

協議ヲシ、閣議ニモ諮リ、財政トノ調和ヲ

圖ラナケレバナラスト云フコトハ十分心得

テ居ル、アナタノ今ノ御尋ハ九年度十年度

先ノコトノ御尋カモ知レナイガ、若シ先ノ

コトナラ、マダ其交渉ヲ受ケテ、數字ヲ以

テ是ダケ要ルノダト云フヤウナコトハ、一

ツモ受ケテ居ラス、隨テ私ハ與リ知ラナイ

ノデアリマス

○櫻井委員 私ノ御尋シタノハ例ヘバ海軍

ノ計畫ニシテ、頭ヲ認メテ居ルカラ先ヲ認

メナケレバナラス、或ル程度——程度ハ違

ヒマセウケレドモ、認メナケレバナラス勢

ニナッテ來ル、ソレ故ニ此問題ハ重大デア

ル、重大ナ問題ヲ御決メニナルノニ、最初

ノ國民ノ期待ニ反シテ、ドウモ餘リ輕ク御認メニナツタノデヤナイカト云フ點ヲ明ニシテ置キタイ、サウデナケレバナイト云フコトヲハッキリ明ニシテ置ケバソレデ宜シイ、併シ世間ハサウ思ッテ居ルノデアル、大藏大臣ハドウシタノダラウ、例ノ禪カ何カノ關係デ、心機一轉シテ、非常ニ強イ態度デ反對シナガラ、パット一夜ニシテ轉換セラレタヤウニ思ッテ居ル、惡ク言ヘバ輕率デナカッタカト云フ風ニ思ッテ居ルカラ、サウデナイト云フコトデアレバ、ソレヲ明ニシテ置キタイト云フノガ私ノ質問ノ趣旨デアリマシタ、併シ大體是デ御趣旨ハ分リマシタカラ、私ノ質問ハ是デ打切ルコトニ致シマス

○武田委員 私モ二三ノ質問ヲ成ベク簡單ニ致シテ、大藏大臣ノ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、第一ノ質問ハ此前ノ時ニ政務次官カラ一通リノ御説明ヲ承ツタノデアリマシタケレドモ、少シク私ノ腑ニ落ちナイ點ガアツデ、再質問ヲ致シタイト考ヘテ居ツタデアリマス、幸ヒ大臣ガ御臨席下サイマシタカラ、一寸大臣カラ一應御説明ヲ願ヒタイト思ッテ居リマス、ソレハ斯ウ云フコトヲ此前ニ御伺フ致シタノデアリマス、昭和八年度ノ豫算ニ於テ約十億ノ公債

ヲ募集ナサルコトニ御決定ニナツテ居ルノデアリマス、其約十億ノ公債ヲ御決定ニナル目標ハ何レニ御置ニナツタノデアラウカト云フコトヲ伺ツタノデアリマス、即チ之ヲ言ヒ換ヘテ見マサルト、其位ノ公債ヲ我國ノ市場ニ於テ消化シ得ルト云フヤウナコトヲ見當トシテ御決定メニナツタノデアラウカ、或ハ又其他ノ標準デ、其位ガ適當デアル、或ハ通貨ノ膨脹ノ關係カラ申シテ、「インフレ」ガ起ル事情カラ申シマシテ、其位ノ程度ハ我國ノ今日ノ經濟力竝ニ産業ノ振興ノ上ニ於テ差支ガナク、寧ろ適當デアルト云フヤウナ標準ヲ定メテ御決定ニナツタノデアリマセウカト云フコトヲ伺ツタノデアリマス、之ニ對シテ政務次官カラノ御答ハ、ソレハサウ云フ標準ヲ定メテヤッタト云フ譯デヤナイ、滿洲事件費、時局匡救費、其他海陸軍ノ整備費ハドウシテモ已ムヲ得ナイ、是レ以上ドウシテモ減ズルコトハ出来ナイ、然ルニ歳入ハ限ガアツテ外ニ方法ガナイカラ、其足リヌ部分ヲ公債ニ募ルト云フコトニシタノデアル、斯ウ云フ御答辯デアッタノデアリマス、丁度今櫻井君ノ御話ト多少似寄ッタヤウナコトデアリマスケレドモ、私ハ成程或ハ事實サウトモ思ハル、ヤウナ點モアリマスケレドモ、併ナガラ最初

大藏大臣ハ豫算編成ノ時ニ、一般會計ニ於テ公債ヲ募ル限度ヲ八億圓ト大體ノ見當ヲオ付ケニナツタト云フヤウナコトヲ新聞ニモ傳ヘラレ、又事實サウト私ハ信ジテ居ルノデアリマスルガ、左様ニ致シマスルト云フト、私ハ後カラ今ノ九千六百萬圓ヲポント投出シタト云フコトヲ新聞ガ言ッテ居ルト云フコトヲ、彼此レ申ス意味デ御間ヲ致シテ居ル譯デハ毛頭アリマセヌ、唯假ニ其豫算編成ノ當時ニ八億圓ト云フコトヲ先ヅ公債財源トシテ收入ノ方ニ御認ニナツタト云フノニハ、其處ニ其限度ヲ決メルノニ付テ、何等カノ標準ガアツタノデハアルマイカ、例ヘバ先程モ申上ゲマスル如クニ、其消化力ノ方面カラ御考ヘニナツタノカ、或ハ之ヲ日本銀行ニ抱カス上ニ於テ、其位ノ程度ナラバ日本銀行ニ抱カセテモ、日本銀行ノ信用ヲ失墜スルヤウナ危惧ガナイト云フヤウナコトニ見當ヲオ付ニナツタノカ、何等カソコデ八億圓ト云ヒ、其後ソレニ増額ヲ致サレマシテモ、其増額致サレマシタ事情ハ別ト致シマシテ、兎ニ角其處デ大體ノ見當ヲオ付ケニナツタ、其標準ガ何レニ在ッタノデアリマセウカト云フコトヲ實ハ承リタイノデアリマス、ソレデ若シ政務次官ノ御答辯ノ如ク、其募債額ノ數字ノ標準ト云フ

モノハ、サウ云フ經濟的若クハ財政的ノ見地ニ依ッテ定メタモノデナクシテ、歳出上已ムヲ得ナイ、ドウシテモ、是レ以上ハ減額スルコトガ出来ナイカラ、其足リヌ分ダケノモノヲ、何トカ後ハナルデアラウト云フヤウナコトデ決メタノデアル、假ニ斯ウ云フコトデアルトスルト、更ニ斯ウ云フ疑問ガ私ニハアルノデアリマス、ソレハ日本銀行ニ之ヲ總テ抱カシメルト云フコトニシテ、勿論其中ヲ「マーケット・オペレーション」ノ力ニ依ッテ色々民間ニ出來ルダケノ消化ヲ致スノ手段ハ御執ニナルニ違ヒアリマセヌガ、ソレニ致シマシテモ、我國ノ日本銀行ノ通貨ノ發行力ハ制限外ノ發行ヲ致サナケレバ、今日デハ十四億三千萬圓ホカナイ筈デアリマス、其所ヘ今日既ニ十億以上ノ兌換券ガ發行サレテ居ルノデアリマス、ソレデ私ノ計算ニ依リマス、細カイ私見ヲ申スト長クナルカラソレハ止メテ置キマスガ、先ヅ八年度ノ公債ハ辛クモ行クト致シマシテモ、九年度ニ行ツテ今日ヨリサウ餘リ少イ公債デ賄フコトハ困難デアラウト私ハ考ヘテ居ル者デアリマス、大藏大臣モ既ニ八年九年ハ已ムヲ得ナイ、十年度ニナツタナラバ財界モ好轉シテ、財政ノ上ニ於テモ、其處ニ増税モシ、若クハ其他ノ方法ニ依ッテ

財政ノ基礎ヲ確立スルコトモ出來ルデアラウト云フ豫想ヲ屢、御示ニナッテ居ルノデアリマスルカラ、十年度以後ノコトハ兎モ角モト致シマシテ、九年度ニ於テドノ位ニナルカ知リマセヌガ、此度ノ公債ヨリハ餘リ少クスルト云フコトハ困難デアアルマイカト、斯ウ思フノデアリマス、サウ云フコトニ致シマスト云フト、九年度ニ於テ日本銀行ニ此政府ノ發行サル、公債ヲ引受ケシムル上ニ於テ非常ナ困難ヲ生ジハスマイカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、サウシマスト云フト若シサウナルシテモ、一旦サウ決メタ以上ハ日本銀行ニ引受ケサセルヨリ外ニ途ハナイデアリマセウカ、サウシマスト、日本銀行ハ制限外ノ發行ヲスルノ外ハナイノデアリマス、制限外發行ヲスルト云フコトニナリマス、經濟上ニハ甚ダ面白カラヌ結果ニナルコトハ申スマデモナイ、從來ノヤウニ保證準備ガ一億二千萬圓ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、制限外發行ヲ致シマシテモ、是ハ當リ前ノヤウニ世間デハ受取ツタノデアリマス、ケレドモ此度一億二千萬圓ガ十億ニ増シタト云フコトハ、制限外發行ヲ常時ノコトニスルヤウニナッテハ、財政ノ基礎、經濟ノ基礎モ甚ダ面白クナイカラ、是ハ制限外發行ト云フモノハ、

財界ノ非常信號トシテ用ヒナケレバナラナイノデアアルカラ、ソレヲ常態ニ復スルガ爲ニ、保證發行ヲ十億圓ニ増額致シタノデアリマスルカラ、愈ノ時デナケレバ、制限外發行ハシナイト云フ方針ニ御變更ニナツタモノト私ハ承知シテ居ルノデアリマス、又當時ノ兌換券條例ノ改正ノ時ノ大臣ノ御説明モ、左様ニアッタト私ハ承知シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、政府ガ公債ヲ發行スル爲ニ制限外發行ヲ餘リ御出シニナルト云フヤウナコトハ、經濟上甚ダ面白クナイ現象デアリマスルノミナラズ、制限外發行ニハ申スマデモナク三分ノ利子ガ附ク譯デアリマス、サウシマスト成ベク利率ノ低イ公債ヲ出サウト云フ從來ノ御方針ト變ツテ、此度四分五厘ノ公債ヲ御發行ニナッテ居ル、其處ヘ日本銀行ノ引受ケル金ニ三分ノ利子ガ附クト云フコトニナルト、利率ノ低イ公債ヲ發行スルト云フコトハ、自然困難ニナル結果ニ陥リハスマイカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソレデ今申上ダタ最初ノ質問ニ付テ、大臣ノ御意見ヲ御説明願ヘレバ幸ト思ヒマス

○高橋國務大臣 最初ノ御尋ノ公債發行ニ付テノ標準ト云フコトハ、政務次官カラ御答致シタ通りデアリマス、ソレカラ玆ニ一ツ申上ダタイノハ、此豫算編成ノ終ルマデノ手續ニ付テハ、是ハ内閣ノ内部ノ仕事デアッテ、世間ニ漏レル筈ハナイモノデアアル、併ナガラ成程今想起シマシタガ、當時新聞ナドニ、大藏大臣ガ一夜ニシテ變ツテ、海陸軍ノ言フ通りニ九千ナンボトカ、一億足ラズノ公債増發ヲ許シタト云ツテ、盛ニ惡口モ言ハレタガ、全ク間違ッテ居ル、其當時ノ事ヲ言ヒタクハナイケレドモ、世間ニ誤解ガアリ、其新聞ノ記事ガアナタ方マデモ誤解ヲサセルヤウニナッテハ、是ハ内部ノ事デアッテモ此處デ相當言ハナケレバナラヌ立場ニナツタ、其前ニ海陸軍ノ二省ヲ除イテ、他ノ各省ノハ公債ハ八億ナンボ、之ヲ限度トスルト云フコトヲ決メタ、初メカラ海陸軍ト云フモノハ後廻シニナッテ居ルト云フコトハ閣員ガ皆承知シテ居ル、ソレヲ新聞デハ一旦閣議デ公債ノ發行額ハ八億ナンボトカニ決メテ置イテ、サウシテ一夜ニシテ今度ハ海陸軍大臣カラ一億トカノ公債發行ヲ要求サレテ、大藏大臣ハ之ヲ他ノ閣僚ニ諮ラズシテ許シタナド、云フ、一體何ヲ言ッテ居ルノデアアルカ、嘘ヲ吐クニモ程ガアルト思フ、サウ云フ事情ナンデス、ソレデハ公債ヲ成タケ出スコトヲ少クシタイト云フコトハ、是ハ申スマデモナイ話デアアル、ソ

レガ爲ニ大藏省デハ、此處ニ主計局長ガ居ラル、ガ、ドノ位苦シイ立場ニ立ッテ居ルカ知レナイ、何デモ最初各省カラ新規ニ要求シタモノヲ合セルト、十四億或ハ十五億ニモナルデセウ、ソレヲ兎ニ角アレマデニ査定スルト云フコトハ、容易ナ業デヤナイ、其査定ヲ終ッタ當時ハ海陸軍ト云フモノハ、マダハッキリ公債ノ請求額等ガ決定シテ居ナイ、是ハ後廻シトシテ、大藏大臣ガ直接兩省ノ大臣ト話ヲシテ、サウシテ海軍、陸軍ト分ケズ、眞ニ國防ノ見地カラ三人デ相談ヲシテ、其結果ソレデモ餘程減シタ、内實ヲ言フト、海陸軍カラ要求シタモノハモット多カッタガ、アレダケデ事済ムヤウニ折合ヲ付ケタ、ソレデ新ニ九千ナンボ公債ガ殖エタ、斯ウ云フ次第デアアル、世間ニ傳ッテ居ルノハマルデ違ッテ居ルノデスカラ、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒタイ

ソレカラモウ一ツハ、最後ニ、公債ガ澤山殖エテ來ル、其公債ハ一應日本銀行ニ持ッテ行ク、ソレガ市場ノ「オペレーション」デ以テ巧ク民間ニ咀嚼サレテ行ケバ宜イガ、サウモ行カナクナル、サウスレバ勢ヒ制限外發行トナルガ、是ハ日本銀行自ラガ公債證書ヲ所有シテ、ソレニ對シテ兌換券ヲ出セバ、其兌換券ト云フモノハ出ッキリデ歸ッ

テ來ナイト云フコトヲ前提トシテノ御議論

解致シマシタ

デアル、ソナナコトハアル譯ハナイ、ソレ故ニ通貨ノ統制ト云フコトニ力ヲ盡シテ居

○金光委員長 武田君、大藏大臣ハ貴族院ノ豫算委員會ノ方へ出席サレルサウデアリマスカラ、成ベク簡單ニ願ヒマス

行ガ引受ケタ、十億ノ金ヲ政府ガ使ツタ、其使ツテ世ノ中ニ出タ金ハ依然トシテ十億世

○武田委員 成ベク簡單ニ致シマス——後段ノ御説明ニ對シテハ私少シク議論ガアリ

ノ中ニ留ッテ居ル、サウ云フヤウナコトハアラウ譯ハナイ、サウ云フ事ヲナカラシムル爲ニ、通貨ノ統制ト云フコトニ重キヲ置イ

マス、私モサウ輕率ニ十億ノ公債ガ出タラ、ソレダケノモノハ戻ッテ來ナイモノダト云フ、サウ云フ素人臭イ考ヲ有ッテ居ル譯デハ

テ居ルノデアル、ダカラ今ノ御懸念ハ根本的ニ少シ過ギテ居リハシナイカト斯ウ考ヘル、制限外發行ト云フコトハ、成程若シ社

アリマセヌ、凡ソ大體ニ於テ十億ノ公債ヲ發行シテ、日本銀行ガソレヲ引受ケテ、十億ノ通貨ヲ出シマシタナラバ、其七割位ハ戻ッテ來ルダラウト云フ考ハ有ッテ居ルノデ

會ガモット富ンデ、事業モ盛ニナリ、サウシテ日本銀行ノ兌換券ガドウシテモ十四五億圓デハ足りナイ、常ニ不自由デアル、隨テ

アリマス、サウ云フ考カラ計算シテ見マシテモ、昭和九年度ニ於テハ是ハ不足スルモノデアラウト思フ、其時ニ於テハ今日ノ保

金利ガ高クナリ、商賈人モ事業家モ金利ノ高イ爲ニ困ッテ來ルト云フ時ニハ、保證準備ヲ十四五億圓ヨリ多少殖スコトガナイトモ

證準備ノ範圍内ニ於テハ日本銀行ガ引受ケルコトハ困難デアラウト云フ數字ガ私ノ計算ニ依リマスト出テ來ルノデアリマス、ソ

限ラナイガ、何ヲ苦ンデ保證準備ノ多クナルコトヲ心配スル、唯無茶ニ兌換券ヲ發行シテ、通貨ガ世ノ中ニ溢レルコトガイケナ

コデ之ニ付テ伺ッタノデアリマス、併シ大藏大臣ノ御意嚮サヘ伺ッテ置ケバ宜シイ、ソレ以上突キ進ンデ申スト時間ヲ費シマスカ

○武田委員

最初ノ御答辯ニ付テハ能ク了

次ニ伺ヒタイ事ハ、將來今日ノ勢デ以テ公債ガ殖エル、是ハ勿論ノ事デアリマセウ

體ノ御見當ヲドウ御付ケニナッテ居ラレルデアリマセウカ、即チ之ヲ具體的ニ申シテ

リマス、之ニ對シテ一部ノ人々ハ斯様な意見ノ人々モアルノデアリマス、ソレハ公債ハ殖

見マスレバ、或ハ低利ニ借換ヘルト云フ方法ニ付テノ御計畫モアルデアリマセウシ、

輸出ヲ禁止シテ爲替ガ非常ニ下ッテ居ル、此勢デ見ルト云フト、時間ノ豫定ハ出來ナイケレドモ、何レ金本位ニ復スル場合ニ於テ

或ハ又減債基金制度ヲ復活スルトカ、何等カノ方法ヲ以テ公債ヲ整理スルト云フヤウナ御計畫モアルデアリマセウ、兎モ角サウ

ハドウシテモ平價ノ切下ヲスルコトハ當然デアル、或ハ半分ニナルカ、三分ノ一ニナルカ、四分ノ一ニナルカハ分ラヌケレド

ナ御計畫モアルデアリマセウ、兎モ角サウ云フ風ナ方法ニ依ッテ將來公債ノ整理ヲスルト云フコトニ向ッテ、何等カ大體ノ御意嚮

モ、相當ノ程度ニ切下ゲラレルト云フコトハ已ムヲ得ナイコトデアラウ、ソレガ切下ゲラレルト云フコトニナレバ、ソレダケ貨

ガ定マッテ居リマセウカ、大體デ宜シウゴザイマスカラ伺ヒタイ

幣ノ價值ガ下ッテ來ルノデアアルカラ、貨幣ガ假ニ半分ニ切下ゲラレルトスレバ、百億ノ

テハ、今御舉ゲニナッタ事項ハ無論必要デアリ、考究スベキ問題デアリマス、殊ニ減債基金制度ノ確立——今迄モアルノデアリマ

スガ、有名無實デナク、本當ノ減債基金制度ヲ設定スルト云フコトハ必要ナリト考ヘテ居リマス

○武田委員 最後ニモウ一ツ伺ッテ、ソレデ私ノ質問ハ終リト致シマスガ、公債ガ餘計ニナッテ困ルト云フヤウナ懸念ハ、是ハ今日

迄議會ニ於テ現レタ質問應答其他ノ議論ニ於テモ、極メテ盛デアッタノデアリマス、又世間モ之ヲ非常ニ憂ヘテ居ルコトハ事實デア

○高橋國務大臣

平價ノ切下ト云フコトヲ頻ニ唱ヘラレル方々ガアリマスケレドモ、

一體一國トシテ正貨ノ價ヲ下ゲルト云フコ

トハ、是ハ決シテ望マシキ事デハナイ、避

ウト思フ

ケラレルモノナラバ避ケタガ宜イ、併シ佛

蘭西ノ如クドウシテモ避ケ得ラレナイト云

フナラア、云フコトヲヤルノデス、又ハ英

吉利ノ如キモ金本位ヲ離脱シタケレドモ、

未ダ平價ヲ切下ゲルト云フヤウナコトニ國

民ハ同意ヲシナイ、元々平價切下ト云フコ

トハ、自國ト他國トノ間ノ貸借關係カラ起

ル、我國デモ此國際間通用ノ貨幣問題ガ解

決サレテ各國ノ輸出入ノ「バランス」ヲ清

算スル方法モ定マデ居ル、其時ニ於テドウ

シテモ我國ハ平價ノ切下ガ必要ダ、海外ニ

支拂ガ多イ爲ニ必要ダト云フヤウナコトニ

ナレバ、是ハ或ハヤラナケレバナラヌカモ

知レナイ、幸ニ我國ニハソレ程ノ海外ニ借

金ハナイ、餘所ノ國トハ違フ、政府トシテ

ハ出來ルダケ平價ノ切下ナド、云フコトハ

セズニ進ンデ行キタイト云フ、今日ハ考ヲ

持ッテ居ル、平價切下ト云フコトハ決シテ好

ンデスベキ事デハナイ、借金シテ置イテカ

ラニ百圓ノ金ヲ借りタケレドモ、返セナイ

カラシテ、其百圓ノ名前ハ百圓ダケレド

モ、半分ノ價值ノモノデ返スト云フヤウナ

コトハ、是ハ人間トシタッテ恥ナノ DEAL、

出來ルダケ平價ノ切下ト云フコトハ避ケタ

イト私ハ思ッテ居ル、ソレデ大抵御分リダラ

○武田委員 私ノ質問ハ是デ打切りマス

ガ、唯一言申上ゲテ置キタイコトハ、只今

ノ大藏大臣ノ御説明ハ私ノ私見トハ非常ナ

差異ノアルト云フコトヲ申上ゲテ置クノデ

アリマス、根本的ニ其點ニ向ッテ突進ンデ

大臣ノ御意見ヲ承リタイ點ガアルノデアリ

マスケレドモ、今ノ大藏大臣ノ御答辯ニハ

極メテ満足致シ兼ネルト云フコトダケヲ申

上ゲテ私ノ質問ハ打切ッテ置キマス

○前田委員 御急ギノヤウデアリマスカ

ラ、私ハ極メテ簡單ニ質問ヲ致シマス、他

ハ他ノ委員會デ質問ヲ致シマス、前ノ委員

會デ私ノ質問ニ對シテ高橋大藏大臣ハ日本

銀行ガ通貨統制ノ爲ニ市場ニ公債ヲ賣出ス

場合ニ、市場ガソレヲ買ハナケレバ日本銀

行ハ抱イテ居ッテ差支ナイ、又厭ガルモノヲ

強ヒテ賣ル譯ニ行カヌノダカラ、抱キ込ム

ヨリ外ニナイ、斯様ナ御答デアッタノデア

リマス、無論厭ガルモノヲ銀行業者其他ニ

賣付ケルト云フ譯ニハ行カナイノデアリマ

スケレドモ、併シ若シ其儘ニシテ賣レナイ

カラ抱キ込ムト云フコトニナリマスレバ、

「インフレーション」ガ圓滿ニ進ンデ、公債

ガ段々増發サレマス云フト、勢ヒ通貨ガ

過度ニ膨脹ヲ致シマシテ、其結果ハ必要以

上ニ物價ガ上ル、其結果ハ國民ノ生活ガ非

常ニ脅威サレル、斯様ナ憂フベキ現象ニ相

成ルコトハ極メテ明瞭デアラウト思フノデ

アリマス、只今大藏大臣ハ公債ガ増發サレ

通貨ガ殖エテモ、其通貨ガ民間ニ總テアル

モノデナイ、斯様ナ御答デアリマシタケレ

ドモ、成程一部ハ或ハ潛在通貨トシテ日本

銀行ニ管理サレルコトガアリマセウケレド

モ、併シ過度ニ通貨ガ膨脹サレ、バ勢ヒ投

機心ヲ煽ッテ、過日ノ如ク實價以上ニ株券ガ

暴騰スル、斯ウ云フヤウニ國民ノ投機心ヲ

煽ルコトハ當然デアラウト思フ、隨テドウ

シテモ金融界ノ狀況カラシテ、日本銀行所

有ノ公債ヲ通貨統制ノ爲ニ市場ニ賣出シ得

ナイトスルナラバ、ソレニ對シテ相當ノ御

考ガナケレバナラスト思フノデアリマスガ、

斯様ナ場合ニ何カ適當ナ御考ガアリマスカ

ドウデスカ

○高橋國務大臣 一體通貨ヲ統制スルト云

フコトヲ能ク御考ヘニナッタラ、今御話ノヤ

ウナコトハドウシテ起リマスカ、通貨ガ餘

計出ル、隨テ國ノ産業、工業、總テノモノ

ガソレニ依ッテ發達シテ來ル、サウスレバ

國民ノ所得ガ殖エル譯デス、サウシテ見レ

バ國民ニ餘裕ガ出來ルカラシテ、或ハ株券

ヲ持ッ人モアルダラウ、或ハ公債ヲ持ッ人

モアルダラウ、詰リ貯蓄シタ金ヲ何カニ放

資スル必要ガ一方ニ起ッテ來ル、唯公債ガ澤

山ニナッタカラ銀行モ之ヲ咀嚼スルコトガ

出來ナイ、サウナレバ通貨ガ溢レテ投機思

惑ヲスル、ソレガナイヤウニ統制ヲスル、屢

日本銀行ヲシテ統制サセル、此間モ御話ガ

アリマシタガ、十二月ニ日本銀行ガソレヲ

ヤッタ爲ニ、折角芽生ヘテ來タモノヲ摘ンダ

トカ云ッテ惡口ヲ言ッテ居ル人モアルガ、即

チアレデス、アレハ仕方ガナイ、ダカラ私

ハサウ心配ハ要ラスト思フ、統制ナシニ無

茶ニヤルト云フノハイカヌ、何處ノ國デモ

無統制ノ紙幣増發ト云フコトハ苦イ經驗ヲ

嘗メテ居ル、ソコデドウシテア、云フコト

ニナッタラウ、畢竟ハ紙幣ヲ出シテ其統制

ガナイカラア、云フ結果ニナッタト云フコ

トハ皆サン御承知ダラウト思フ、是ガ十分

ニ統制届クカ届カヌト云フノハ今後ノ問題

デアル、人ノ働キニアル、併ナガラ中央銀

行ト云フモノハ大藏省ト違ッテ、何ガ一番大

切ダト云フト、地方都會等ノ金融ノ情勢ヲ

見ルノガ仕事デ、二六時中彼等ハソレニ没

頭シテ居ル、之ヲシテ脈ヲ取ラシテ過チナ

カラシムルヤウニ統制ヲサセルト云フコト

ヨリ外ニ途ハナイ、而シテ日本銀行バカリ

デハイカヌカラシテ、此間モ申ス通り、參

與制度ト云フモノヲ設ケテ、段々主ナル銀行ノ當局者ナドモ之ニ加ッテ、國家ノ政策ニ順應シテ、一致シテ統制ノ方ニ力ヲ盡スヤウニサセタイト云フノガ最初カラノ希望デアル、段々其方ニ進ンデ行キタイト思、テ居ル、サウ云フ考ヲ私ハ持つテ居ルカラシテ、アナタ方ガ公債ガ溢レテ、紙幣ガ出ッ放シニナッテ、投機思惑ガ盛ニナッテ、徒ニ物價ガ騰貴スルト云フヤウナ惡イ方バカリ聞クガ、サウ云フコトハ私ノ頭ニハ入ラナイ、サウ云フコトヲナカラシムルヤウニ努力シテ居ル、ナイヤウニ努力シテ居ルノデアアル、一方デソレガアルト言フガ、私ノ方デハソレガナイ、ソレガアルト云フノハ意見ノ相違ダカラ仕方ガナイ、

○前田委員 實ハ只今ノ御答辯ハ既ニ本會議ノ御演說デ能ク分ッテ居ル、分ッテ居リマスケレドモ、此間ノアナタノ御答デハ、賣レナケレバ已ムヲ得ナイカラ抱込ムヨリ仕方ガナイ、斯様ニ仰シヤッテ居ル、又只今モ公債ヲ増發シテモ宜イデヤナイカ、景氣ガ好クナルカラ一向差支ナイデハナイカ、斯ウ云フ御答デアリマスケレドモ、景氣ガ直レバ宜イケレドモ、私共ハサウ急ニ景氣ガ回復スルモノトハ思ハヌ、其道程ニ於テ、公債ハ市場ニ賣レナイ、日本銀行ハ増發ス

ルダケ抱込マナケレバナラヌト云フコトニナレバ、勢ヒ通貨ハ過度ノ膨脹ヲスル、サウシテ必要以上ニ物價ガ騰貴スル、是ハ當然デアッテ、既ニアナタガ施政演說ノ際ニ其事ハ詳論サレテ居ル、非常ニ御心配ニナッテ居ル、御心配ニナッテ居ルガ故ニ、私共ハ若シモ現在ノヤウナ金融狀態ガ續イテ、サウシテ長期ノ公債類ガ市場ニ賣出スコトガ出來ナイトスルナラバ、何カ他ニ御考ガナケレバ、日本銀行ノ通貨統制ノ機能ト云フモノハ減殺サレルデハナイカ、ソレハアナタノ施政演說ニ於テ御心配ニナッテ、過度ノ通貨膨脹ニ依ル弊害ヲ、除去スルコトガ出來ナイデハナイカ、左様ナコトヲ御心配ニナッテ居ルカラ御尋シテ居ルノデ、市場ニ賣レ、バ結構デアリマス、ケレドモ只今ノ現狀デハ、私長期ノ公債ハ必要ニ應ジテ市場ニ消化シ得ルモノトハ考ヘラレナイ、ソコデ御心配ヲ申上ゲテ居ルノデアアルガ、一體賣レナイ場合ニハドウ爲サルノデアアルカ、斯ウ云フコトヲ御聽シタイノデアリマス、賣レナケレバ賣レナイデ日本銀行ガ抱イテ居ラナケレバナラヌ、抱イテ居ッテ通貨ハ過度ニ膨脹シナイグラウト云フ御意見ノヤウニ拜聽シタノデアリマスガ、賣レナケレバ通貨ハ過度ニ膨脹スル、過度ニ膨脹ス

レバ勢ヒ物價ハ必要以上ニ上ルコトハ當然デアアル、是ハアナタガ本會議並ニ委員會ニ於ケル御演說ニ於テ、通貨統制ノ爲ニ是非トモ必要ニ應ジテ公債ヲ市場ニ賣出ス、斯ウ云フコトヲ御言明爲サッテ居ル、然ルニ私ノ質問ニ對シテハ、賣レナケレバ仕方ガナイカラ抱込ムヨリ仕方ガナイト言ハレル、アノ時ハ非常ニ御急ギニナッテ居ラレタカラ、多少氣ノ急イタセイデ御考ガ間違ッテ居ッタノデハナイカト思ヒマスガ、斯ウ云フコトデハ矢張賣レナケレバ賣レナイデ、相當政府トシテ御考ガナケレバナラヌト思ヒマス、ソコデ私ハ議論ニ互ルカラ深く追窮致シマセヌガ、更ニ他ノ方面カラ御尋申上ゲマス

先般政府委員ノ御答辯ニ依リマスルト云フト、日本銀行ガ通貨統制ノ爲ニ市場ニ賣出シタ最近マデノ證券類ノ總額ガ——今私手許ニ統計ガアリマセヌカラ、數字ハ間違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、ザット四億三千萬圓、サウシテ其中長期ノ公債類ハ確ニ七千八百萬圓ダト思ヒマス、後ハ大藏證券トカ、米穀證券トカ、極メテ短期ノモノデアリマス、斯フ云フコトガ明瞭ニナッタノデアリマス、此事實ハ私金融界ノ現狀ガ長期ノ證券類ノ消化ヲ欲シナイノデアアル、事實

消化出來ナイノデアアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ故ニ、政府ト致シマシテ今後公債ガ増發スレバ財政上ノ不安ガ段段加ハルノデアアルガ故ニ、益、此長期ノモノハ賣レナイト思ヒマスルカラ、政府ハ今後發行セラレル公債ニ付テ、短期ナ而モ非常ニ有利ナ條件ノ公債ヲ發行サレル御考ガアルカドウカ、之ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、矢張り從來通り御ヤリニナルノカ、或ハ十年乃至十年以内ノ短期ナ、而モ條件ノ好イ公債ヲ出シ、之ヲ市場へ賣出サレテ、通貨統制ノ作用ヲ爲サル、御意思ガアルカドウカ伺ッテ置キマス

○高橋國務大臣 將來ノ公債發行ニ付キマシテハ、短期ノモノヲ發行スル場合ガナイトハ限ラナイ、市場ニ賣レナイ時ニハ日本銀行ガ持ッヨリ仕方ガナイト云フコトハ是ハ當然ノ結果ナンデス、私ハ何時モ言ウテ居ル、今日直チニ日本銀行ガ所謂「オープン・マーケット・オペレーション」公債市場ト云フモノヲ其處ニ起シテ、サウシテ幾ラナラバ公債ヲ賣ッテヤルト云フ時ガマダ來テ居ラナイ、今日デハ銀行相手デアアル、昨年ノコトモ私ハ裏面ノコトヲ能ク知ッテ居ル、十二月カラモウ主ナル銀行ガ金ガ餘ル、ドウカ節期ガ濟ンダラ一ツ持つテ居ルモノヲ

議ッテ貰ヒタイト云フ請求ガ、各銀行ノ方カラ日本銀行ニアツタ、其前ト云フモノハ、餘リ中央銀行ガ公債ヲ賣ルト云フコトハ時ノ政府ハ喜バナカッタ、詰リソレハ公債ノ市價ニ關係ヲ持ッダラウト思フカラデス、所ガ今日ハサウデハナイ、差支ナイ、向フカラ望ムモノナラバ賣ッテヤルノモ宜イト云フコトニナッテ來タ、然ルニ銀行家ハマダ今デモ其風ガ少シアルカモ知レヌケレドモ、近年大銀行ニナレバナル程、日本銀行カラ金ヲ借りル、融通ヲ受ケルト云フコトヲ好マナイ、サウ云フ風ガアルト思フ、ソレ故ニ銀行家ハ成ベク短期ノモノヲ望ム、短期ノモノガ日本銀行ノ手許ニ有ル間ハ、先ヅ以テソレヲ望ンデ來ル、短期ノモノガ無ケレバ長期ノモノニ移ッテ行クト云フヤウニナル、デ今度ハ例ヘバ日本銀行ニ一應引受ケシメナイデ、元ノヤウニ市場ニ公募スルト云フト、其時ノ財界ノ狀況ニ依ッテ、銀行家ガ集ッテ、或ハ七年ニスルガ宜イトカ、或ハ八年ニスルガ宜イトカ、利息ハ幾ラニスルガ宜イトカ云フトヲ評議シテ、公募ノ方ニ著手スル、マダ／＼當分ハサウ云フ時機ハ來ナイト思フ、先ヅ矢張日本銀行ニ持タシテ、金融機關タル地方都會ノ銀行ガ向フカラ望ンデ來テ、有價證券ヲ讓ッテ呉レ

ロ、國債ナリ或ハ大藏證券ナリヲ……ソレハモウ成タケ短期ナモノヲ希望スルコトハ決リ切ッテ居ル、今言フ通り長期ノモノヲ持ッテ、一朝或ハ貸出ノ爲ニ、或ハ預金支拂ノ爲ニ金ガ要ルカラト云ウテ、中央銀行ニ行ッテ金ヲ貸シテ呉レト云フコトハ恥ト心得テ居ル、ソレガマダ拔ケナイ、大銀行ニナレバナル程サウ云フ風ガマダ有ル、ソレ故ニ大事ヲ取ッテ成タケ短期ノモノヲ望ンデ居ル、今ハ其希望ニ委セテ短期ノモノガアレバソレヲ賣ッテ居ル、無イト云フト矢張長期ノ公債ノ中デ一番期限ノ近イモノニ飛付ク、サウ云フ狀況ニナッテ居リマス

○矢野委員 私ソレニ關聯シテ居リマスカラ一寸伺ヒマス、大藏大臣ノ色々ナ機會ニ於ケル御説明ハ能ク拜承致シテ居リマス、公債ヲ發行スル、通貨ガ膨脹スル、物價ガ上リ、事業モ起リ、給料モ上ル、勞働賃銀モ上ル、斯ウ云フ風ニナルノデアルカラシテ安心セヨ、斯ウ云フヤウナ御説明デアリマス、併シ私共考ヘマスルト云フト、ソレハ現在御執リニナッテ居リマスル御政策ノ極メテ良イ方面ダケヲ御觀察ニナッテ居ルノデアッテ、之ニハ一大弊害ガ伴フモノデアラウト考ヘマス、其弊害ハドウ云フ弊害カト言ヘバ、物價ハ上リマス、物價ガ上ルコトハ是ハ間違アリマセヌガ、物價ハ上ルガ、其各種ノ物價ノ中デ非常ニ早ク進ンデ上ル物資ト、商品ノ中ニハ非常ニ上ル速度ガ遅イノトアル、此分布ニ非常ナ差ガ出來ルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、私が申上デマセズトモ能ク御承知デアリマセウ、千九百二十三年ニ佛蘭西ガ「インフレ」ニ轉向シテ、サウシテ千九百二十六年カラ七年ノ春ニ至ルアノ物價指數ヲ見テ見マスルト云フト、千九百二十六年ノ末頃ニハ戰前ニ比較シテ二倍位ニナッテ居ルモノガアルカト思ヘバ、極端ナルモノニ付テハ十三倍ニ騰貴ヲ致シテ居リマス、佛蘭西銀行ニ於テ御承知ノ通り四十五品ニ付テ物價ヲ調査シタガ、其物價調査ヲ見ルト云フト、今申上ゲタ通り非常ニ物價騰貴ノ速度ガ違ヒマス、是ニ於テ非常ニ速ク上ル物資ヲ生産スル者及ソレニ從事シテ居ル勞働者、ソレハ非常ナ利益ヲ得マスケレドモ、物價騰貴ノ足ノ遅イ商品ヲ生産スル者及之ヲ取扱フ商人、勞働者等ハ非常ナル不利益ヲ受ケルコトニナル、此不公平ガ非常ナル弊害デアラウト思ヒマスノデ、私共ハ日本モ矢張現在御執リニナッテ居ルヤウナ御政策デ行クナラバ、サウ云フ風ナ富ノ分布ニ付テノ一大不公平ト云フモノガ起キハシナイカ、成程大

藏大臣ノ言ハレル通りニ、物價ハ騰貴シテ事業ハ盛ニナリ、給料モ上リマセウシ、又商取引モ殷盛ニナルデセウ、併ナガラ其弊害ハ、私ハ大藏大臣ガ御説明ニナル所ノ良イ部分ト對照シテ、其何レナリヤ、ドチラノ方ガ利益デアアルカト云フコトニ付テ非常ニ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ大藏大臣ノ御意見ヲ御聞カセヲ戴クコトガ出來マシタナラバ、非常ニ幸ヒトスルノデアリマス

○高橋國務大臣 只今ノ御尋ハ物價ガ上ルニシテモ、總テノ物價ガ一樣ノ速度デハナク、或物ハ早く、或物ハ遅イ、早く上ル物ノ仕事ニ從事シテ居ル商工業者ハ利益ガアルガ、遅ク上ル物ニ關係シテ居ル者ハ其割合ニ利益ガナイ、此不公平ハ今度始ッタ事デナクテ、年中アルノデアアル、發明、發見等ノ影響ヲ受ケテ或物ガ一時ニ安クナッタリ、或物ガ一時ニ高クナッタリスル、併ナガラ時ノ力ニ依ッテソレガ平均ヲ段々得テ行クト云フノガ、從來經過シタ經濟上ノ有様デアリマス、之ヲ無カラシムルト云フコトハムヅカシイノデアアル、世ノ中ノ進歩ト云フモノヲ抑ヘテシマフ、發明發見ヲ抑ヘテシマッテ、現狀ノ儘デ行カセルト云フ、サウ云フヤウナ暴政ヲ行ッタナラバ、或ハ富ノ平均ヲ

得ルヤウナコトガアルカモ知レナイケレドモ、ソレハ餘リニ高過ギル犠牲デヤナイカ、サウ云フ犠牲ヲ拂ッテ此人世ヲ治メテ行クト云フコトハイケナイ事ダシ、又實際不可能デアル、倍テ斯ウナッテ來ルト云フト、ドウモ各人ノ職業ニ依リ、或ハ其製造品ノ種類ニ依リ、ソレニ關係スル發明發見等ノ進歩ニ依ッテ、ソレニ從事シテ居ル人達ノ收益モソコニ多少ノ變化ガ起ルト云フコトハ免レナイ、之ヲナイヤウニシヨウト云フコトハ無理デハナイカ、富ノ不均均ト言ヘバ言ヘルカモ知レナイガ、例ヘバ今日デハ、工場デモ職工ナドガ請負デ仕事ヲヤッテ居ル、是ハ今デハ軍需品ヲ主トスル工場等ニ於テハ、晝夜兼行デ職工ハ殆ド己ノ健康ヲ害シヤセヌカト思フ程ニ晝夜働イテ居ル、元ハ日給一圓二十錢位デ働イテ居ッタ職工ガ、今日ハ五圓以上モ取ッテ居ルト云フコトヲ私ハ聞イテ居ル、是ハドウモ免レナイ、ソコデ今度ハ其經營者ガモット機械ノ良イノガアルカラ機械ヲ替ヘテサウシテ請負仕事ヲ矢張ヤラセル、サウスルト職工ガ承知シナイ、餘計物ガ出來テ一ツノ品物ニ付テノ賃錢ガ下ルカラ、ソレハ御免ダト言ッテ、有效ナル機械ヲ排斥シテ、從前ノ古い機械デヤッテ、今日元ノ四倍カラノ賃銀ヲ得テ、サウ

シテ満足シテヤッテ居ル、サウ云フコトハ何時ノ世ニモ免レナイ、此頃能ク外國ノ新聞ナドニ所謂「デクノクラシー」ナント云フヤウナコトガ言ハレテ、機械ノ發明ガ此世ノ中ヲ不景氣ニシタノダ、イヤ決シテサウデハナイト云フヤウナコトデ議論ガ岐レテ居ル、極端ナ人ハ一體發明ナンカト云フコトハ——無暗ニ努力ヲ省ク機械ヲ發明シタカラ、茲ニ失業問題ガ起ッテ失業者ガ出來ル、一方デハサウデハナイ、段々是デ努力ヲ少クシテ優良ナ品物ガ澤山出來ルノダカラ、人間社會ニ幸福ヲ與ヘル因ニナルノダト言フ、ドッチニモ理ガアル、アナタノ御話ハサウ云フコトニ類シテ居ハセヌカト思フノデアリマス

○矢野委員 大藏大臣ノ御説明ハ極メテ巧妙デアリマスケレドモ、私ガ御問致シマスノハ其個人ノ能力トカ、發明發見トカ云フコトニ依ッテ、富ノ分配ガ不公平ニナルノガイケナイト云フヤウナ社會主義的思想ノ下ニ於テノ質問デハナク、現在大藏大臣ガ御執リニナッテ居ル政策——詰リ赤字公債ヲ發行スル、是ハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、無論私モソレハ十分承知致シテ居リマスガ、其公債ヲ發行スル、通貨ガ膨脹スル、ソレニ依ッテ生ズル所ノ物價ノ騰貴ノ速度ガ違フ、其

速度ガ違フト云フコトニ依ッテ、吾々國民ノ中ニ於テ非常ナル利益ヲ得ル者ト不利益ヲ受ケル者トガアルガ、ソレヲ何トカ救済スル政策ハ御持チニナッテ居ラナイノデアリマスカ、所謂大藏大臣ガ御ヤリニナル政策ノ結果トシテ、吾々ノ發明トカ、發見トカノ結果デハナクシテ、サウ云フ不公平ガ生ズルノデアラウト思フノデアリマス、ソレニ對シテサウ云フ不公平ハ全然起キナイカラ安心セヨト言ハレルノカ、サウ云フ不公平ハ起キルガ、政策ハナイ、不可能デアル、仕方ガナイト言ハレルノカ、ソレヲ御尋シテ居ルノデアリマス、デスカラシテ今御答ニナッテ居ルコトハ全然方面ガ違ッタ所ノ御答ト思ヒマス

○高橋國務大臣 ソレハ成タケサウ云フヤウナ不公平ヲナカラシムルヤウニ、其點ニ付テハ努力スルノデアリマス、ソレハモウ屢々申ス通り、第一ノ手段トシテハ必要ナ所ニ必要ナ金融ガ付イテ、不必要ナ所ニハ資金ガ廻ラナイヤウニスル、所謂通貨ノ統制、調節ガ一番大切ダ、是ガ根本政策デアリマス、其上ニドウモサウ云フ事ガ起ルト云フコトハ、或ハアルカモ知レヌガ、遺憾ナガヲ是ハ防ギヤウガナイ、之ヲ防ガウトスレバ先ヅ以テ政府ノ仕事ヲ止メルヨリ仕方ガ

ナイ、公債ヲ財源トシテ斯ノ如ク政費ヲ使フノガ惡イ、是ガ根本デアル、若シ政府ガ増稅ヲシテ稅賭ヲナラバ、此二十三億ノ豫算モ何デモナイト云フ御考カモ知レヌガ、併ナガラ如何ニモ龐大ナ豫算ニハ違ヒナイ、稅賭ヲコトガ出來ナイカラ公債デ賄ッテ行ク、ソレガ惡イト云フナラバ歲出ヲ削ルヨリ外ニ途ガナイ、是モ出來ナイ、斯ウナッテ來レバ、是ハ國ノ運命デ已ムヲ得ヌノデセウナ、アナタノ仰シヤルヤウナ弊害ガアルノハ、或ハ起ルカモ知レヌケレドモ、ソレガ起ラナイヤウニスルノガ吾々ノ責任デアアル、出來ルダケ起ラナイヤウニヤル、ケレドモドウモ全クサウ云フコトハナクテ濟ムト云フヤウナ大膽ナ斷定ハ私ニハ出來ナイ、或ハ御懸念ノヤウナ事ガ起ルカモ知レナイ、唯政府トシテハサウ云フ事ヲナカラシムルヤウニ努力スルト云フニ止ッテ居ルノデアリマス

○矢野委員 色々之ニ關聯シテ質問シタイト思ヒマスシ、私モ現在ノ情勢ニ付テモ調査シテ居リ、又私共トシテ對策モ考ヘテ居リマスガ、餘リ長クナルト皆サンニ御迷惑ヲ掛ケルカラ、是デ質問ハ打切りマス

○前田委員 簡單ニ一二問御尋致シマス、只今大藏大臣ノ御答辯デハ公債發行ヲ——

將來ハ知ラスガ、現在ニ於テハ餘リ變更スル必要ガナイ、斯ウ云フヤウニ諒承シテ宜カラウト思ヒマス、ソコデ第二段ニ御尋申上ゲマスノハ、大藏大臣ハ屢ニ申サレテ居ル如ク、公債ノ低利借換ヲ出來ルダケヤリタイ、斯ウ云フヤウニ申サレテ居ルノデアリマスガ、是ハ出來レバ財政上海ニ結構ダト思ヒマス、併ナガラ由來低金利政策ト云フコト、景氣ノ恢復、産業ノ振興ト云フコトハ竝行スベキコトデハナカラウト考ヘテ居ルノデアリマス、景氣恢復、産業振興ノ前提トシテノ低金利政策ハ結構デアリ、又必要ダト思ヒマスケレドモ、併ナガラ通貨ガ適當ニ膨脹致シテ、其結果購買力ガ殖エテ、産業ガ起リ、國民經濟ガ健全ナル發達ヲスル、斯ウ云フコトニナレバ、勢ヒ資金ノ需要ガ増加スルノデアリマス、資金ノ需要ガ増加シマスルナラバ、ドウ致シテモ金利ハ上ル、斯ウ云フコトガ順序ダト思ヒマス、隨テ低金利政策ト産業振興ト云フモノハ竝行シナイ、ソコデ大藏大臣ノ御説ガ事實實現スルモノトスレバ、恐クハ公債ノ低金利借換ト云フコトガ不可能ニナルノデアリマス、之ニ付テ簡單デ宜シイカラ、御所見ヲ一ツ伺ッテ置キマス

○高橋國務大臣 ソレハ時ニ依ルト低利ノ借換ガ出來ナイコトガアルカモ知レマセヌ、併ナガラ私共ノ執ッテ低金利政策ト云フノハ、是マデ資本ノ取分前ガ多過ギタカラ、世界中資本主義ノ行詰リガ來タノダ、成タケ資本ニ對スル報酬ガ薄イ程働ク人ノ利益ニナル、ドウモ世界中ハ其方向ニ向ッテ是カラ進ムダラウト私ハ思ッテ居リマス、故ニ我國モ矢張サウ云フコトヲ希望スルノデアリマス、資本ニ酬ヒラレル所ガ餘リ厚過ギタ爲ニ、所謂資本主義ノ行詰リト云フコトガ起リ來ッテ居ルト思フ、是ハ私ハ世界ノ大勢カラ觀デドウシテモ改マラナケレバナラヌト思フ、併ナガラ是ハ將來下リ通シニ下ルカト云フト、サウデハナイノデアリマス、或ハ其國ノ事情ニ依ッテ工業ガ復興シテ、資金ノ需要ガ起ル爲ニ金利ガ高クナルト云フコトハ、是ハアリ得ベキ事デアアル、需要供給ノ原理カラ是ハ當然デアアル、ソコデ外國デハドウカト云フト、倫敦ノ金利ガ高クナレバ、亞米利加ノ金利モ高クナリ、佛蘭西ノ金利モ高クナッテ行ク、國際間ノ仕組ハ皆サウ云フヤウニ出來テ居ル、我國ハ稍、其時代ニ達セントスル所マデ行ッタケレドモ、實際ニハ其時代ニ達シテ居ラヌ、世界ノ大勢カラ見マシテモ資本ハ成ベク高イ所ヘ、安

全ニシテ利益ノ多イ所ヘ向キツ、アルノデアリマス、資本ニハ殆ド國境ガナイノダカラサウ云フ風デアアル、日本ニ於テモ工商ガ一時盛ニナッテ、新タナ資本ノ需要ガ盛ニ起ッテ來テ、之ニ充當スベキ十分ナ資本ガ無イト云フ時分ニハ、誰モ彼モ資本ヲ望ムカラシテ、需要ガ殖エル爲ニ、一時資本ノ利息ガ高クナルト云フコトハアルダラウト思フ、全ク低金利政策ト云フモノハ、所謂其資本ノ利息ガ安クシテ、事業ガ起ッテ行クト云フモノデハナイ、是ハアナタノ仰シヤル通りサウ云フ風ニ行クコトモアラウト思ヒマス

○前田委員 大體ニ於テ今ノ御答辯ハ私共ト觀念ヲ共ニ致シテ居ルト思ヒマス、ソコデモウ一ツ簡單ニ御尋申上ゲタイノハ、組閣ノ當時竝ニ其後ニ於テ屢ニ高橋大藏大臣ハ、今日ノ經濟ハ國際的ニ非常ニ密接ナル關係ヲ有シテ居ルガ故ニ、世界ノ景氣ガ直ラヌ限ハ日本ノ國ダケガ景氣ノ眞ノ回復ヲ期待スルコトハ極メテ困難デアアル、斯様ニ申サレテ居ル、私共モ至極尤ナコトデアアルト思ッテ居リマス、然ルニ其後ニ於テ高橋大藏大臣ハ、九年度ニハ景氣ハ直ラヌガ、十年度ニナレバ景氣ハ好クナル、歳入モ増加スル、又産業モ興ルカラ増稅モシ得ルヤウナ状態ニナルダラウ、斯様ナ極メテ樂觀的ナ御説ヲ唱ヘテ居ルノデアリマス、勿論私共大藏大臣ノ苦衷ナリ立場ハ能ク諒ト致シマス、大藏大臣トシテ餘リ悲觀的ナ説ヲ御出シニナルコトモ非常ニ是ハ禁物ダト思ヒマスガ故ニ、立場ハ能ク諒ト致シマスケレドモ、妄ニ樂觀説ヲ唱ヘラレマス云フト、却テ其結果ハ國民ニ妙ナ氣分ヲ醸成サセマシテ、又一方ニ射倖心、投機的觀念ヲ激成サセル、斯様ナ弊害モ伴フモノデアアルノデアリマス、隨テ私ハ御立場ハ非常ニ諒ト致シマスケレドモ、今申シタ如ク、餘リ樂觀説ヲ御述ニナルコトハ、大藏大臣トシテハ餘程御考ヘ下サラナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ此質問ヲ致スノデアリマスガ、無論適當ニ「インフレーション」ヲヤラシテ購買力ヲ増進スレバ、景氣ハ現在ヨリ多少好クナルト思ヒマスケレドモ、眞ニ日本ノ景氣ガ回復シ、國民經濟ノ健全ナル發達ヲ圖ルニハ、ドウ致シマシテモ私ハ矢張世界中ノ景氣ガ好クナラナケレバ、サウ云フ所ニハ達セナイト考ヘテ居ルノデアリマス、實ハ此點ニ付キマシテ爲替低落ニ依ル輸出ノ増進ガ、果シテ健全ナル國民經濟ノ發達ニナルカドウカト云フコトモ、實ハ突込ンデ御尋申上ゲタイト思ヒマスケ

レドモ、是ハ非常ニ時間ガ掛リマスカラ、他ノ委員會デ適當ナ機會ニ御尋申上デヨウト思ヒマス、ケレドモ大體ニ於テ私ハ餘リ高橋サンノ御説ハ樂觀シ過ギル爲ニ、却テ國民ニ妙ナ氣分ヲ起サス弊害ガアル、斯様ナ事ヲ心配致シテ居リマスガ故ニ、今申上デタ世界ノ景氣ガ直ラス限り、日本ノ景氣モ眞ニ回復スルモノデナイト云フ觀念ニハ、今日御變化ガナイカドウカト云フコトヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○高橋國務大臣 私ハ最初カラ今日ノ世界ノ有様ヲ見マスト云フト、一國ガ外國貿易ニ依頼スルコトハ、是ハ今日ハ出來ナイ、ソレ故ニ先ヅ以テ國內ノ産業ヲ盛ニスルコトヲ以テ第一次トシ、外國貿易ハ第二次ノコト、シテ考ヘナケレバナラスト云フコトハ、初メカラ私ハ申上デテ居ル、ソレハ御話ノ通り、國際間ノ貿易モ盛ニナラナケレバナラストノデアレケレドモ、先ヅソコノ點ニ付テハ一向見透シガ付カナイ、何時サウ云フ狀況ガ國際間ニ出現シテ來ルカ、皆骨ヲ折ッテ世界の經濟會議ダトカト云フコトヲヤルケレドモ、ドウモ見込ミガ立タナイ、ソレ故ニ先ヅ已ムヲ得ヌ、我國トシテハ第一ニ國內ノ商工業ヲ盛ニシテ行キ、外國貿易ニ依頼スルコトハ第二次トシテ居ルト、

斯ウ云フコトヲ始終唱ヘテ居ル、能ク昔カラ言ッテ居ルガ、一ツノ集團ノ町村ニ對シテ見タ所デ、一萬人ノ人間ガアルト云フト、

其人同志ノ間ニ需要供給ノ關係カラシテ、他ノ世話ハナクモ暮シガ立ツト云フコトヲ昔カラ能ク言ッテ居ル、シテ見ルト世界ノ經濟關係ガ頼ムニ足ラス、何處迄モ自給自足デ立タネバナラスト云フ國柄ニナッテ見マスト、此七千萬ノ人口ヲ持ッテ居ル我國ガ、自分デ自給自足ガ出來ナイト云フコトハ決シテナイ、其處ニ強味ガアル、食料品ナドハ、我國ニ於テハ國民ノ多數ガ之ヲ作ッテ居ル、ソレダカラ私ハ我國ニ對シテ、財政經濟ニ付テハ前途悲觀スルコトハナイ、併シ樂觀シテ居ルト云フコトヲ能ク言ハレルケレドモ、ソレモ亦迷惑ナ話デアル、始終ドウシタラ宜イカト云フコトヲ憂ヘテ居ル、心配シナイノデハナイ、ソレガ樂觀デハナイ、併ナガラ失望スルニ當ラヌト私ガ常ニ言フノハ、是ハ失望ノ淵ニ陥ッテシマッテ、國民ガ意氣沮喪シテシマッテハ仕方ガナイ、ドウモソコマデ沈没サセタクナイ(「立場ハ能ク諒承シテ居リマス」ト呼フ者アリ)デスカラ決シテ、私ハ能ク世間ノ人ガ樂觀主義デアルト言フケレドモ、恐ラク私程、本當ニ心配スル人間ハ少ナカラウト思フ(拍手)

○前田委員 是デ後ノ質問ハ次ノ機會ニ譲リマス

○高見委員 大藏大臣ニ一、二質問ヲ致シ、其後デ次官ニモ色々質問シタイト思ヒマシタガ、時間ガアリマセヌノデ、私ハ終リニ臨ンデ、一ツ二ツ極ク簡單ニ承ッテ置キタイト思ヒマス、重大ナ件デアリマス、是ハ衆議院ノ本會議ニ於テ、豫算ガ滿場一致通過致シマシタ時ニ、政友會ノ希望條件ノ中ニ「政府ハ財政ノ現状ニ鑑ミ國防行政稅制ノ調整ヲ圖リ」詰リ行政、稅制、國防ノ調整ヲ圖リト云フコトヲ申上ゲテアルノデアアル、只今行政、國防、稅制ニ關シテハ、ドウ云フ風ニ御調整ニナルカト云フコトニ付テハ、今日マダ御答スベキ時機ニ及ンデ居ラス、斯ウ云フヤウニ仰シヤッテ居ルノデアアリマスルガ、此行政ノ調整ヲ圖ルト云フコトハ、非常ニ大切ナコトデアアル、吾々ノ見ル所デハ、徒ニ金ヲ減ラスト云フコトガ目的デハナイ、能率ヲ非常ニ擧ゲルト云フコトニ、行政機構ノ改良ガアル、場合ニ依テハ國務大臣ヲモット殖ヤシテモ宜イ、或ハ又局課ヲモット殖ヤシテモ宜シ、又議會アタリニハ常設委員會ヲ設ケルノモ宜シ、兎ニ角能率ヲ擧ゲルト云フコトハ、所謂行政ノ整備——整理

デハナク整備ト云フヤウナ意味デアラウト思ヒマスルガ、是非、是ハ此豫算ヲ御實行爲サルニ於テ、此決議ヲ十分尊重シテヤッテ貰ハナケレバナリマセヌ、此決議ハ唯一遍ノ黨利的ノ決議デアルト云フヤウナ御考ヲ爲サレタナラバ、吾々議員ガ滿場一致ヲ以テ決議シタ所ノ趣旨ガ徹底シナイ、此國防行政、稅制ノ調整ヲ圖リト云フコトニ向ッテハ、何處マデモ熱心ニヤルト云フ御趣意ヲ表明シテ貰ヒタイ、而シテ行政ノ調整ヲ圖ルト云フコトハ、ドウ云フ建前デアルノデアアルカ、唯彼方ノ局、此方ノ課ナドカラ、五千、一萬ノ金ヲ集メテ來テ、サウシテ百萬圓バカリノ整理ガ出來タト言ッテモ、其調整ガ片跛ニナルト云フコトデハ、決シテ吾等ノ望ム所デハナイ、私ハ大體ドウ云フ建前デ行政ノ整備ヲヤルノデアアルカ、眞ニ此決議ノ精神ヲ尊重スル意アリヤ否ヤ、サウシテソレヤルニ付テ、行政ノ整備ト云フコトニ付テハ、ドウ云フヤウナ建前デ御ヤリニナル御意思ガアルカト云フコトヲ一ツ承リタイ

○高橋國務大臣 今御述べニナツタコトハ、無論私共モ同ジコトデ、私等モサウ考ヘテ居ル、併ナガラ行政整備ニ付テ、具體的ニ茲ニドウ云フ風ニシテヤルト云フコトヲ言

ヘト云フコトハ、少シ無理デス、是ハモット廣クヤラナケレバナラス、其趣意ハ能率ヲ増進スルトカ、事務ヲ簡潔ニスルトカ、諸官省ノ機構、是ハ改メル必要ガアルト私ハ考ヘテ居ル、之ヲ具體的ニ一々今言フト云フコトハ出來マセスガ、付帶決議案ト云フモノハ、私ハ其精神ニ於テ十分是ハヤラナケレバナラスコトダト思フ、唯之ヲ政府ニ任セルバカリデハナク、アナタ方モ決議シタ以上ハ、政府ヲ鞭撻シテ、今後十分共ニ責任ヲ持ツヤウニシナケレバナラス

○高見委員 最後ニモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、此間カラ或ハ増税ニ關スル二三ノ御意見ヲ承ハッタガ、又民業ヲ官業ニ移スコト、或ハ電氣ノ國營ト云フヤウナコトニ付テモ承ッタノデアリマスガ、アナタノ留守中ニ堀切政務次官ニ、輸出貿易増進ニ關スル所ノ十分ナル設備ヲスル必要ガアル、之ニ關シテハドウデアアルカト云フコトヲ詳細ニ私ハ理由ヲ述ベテ質問シタノデアアル、殊ニ又今日ノ滿洲問題ト言ヒ、色々ナ問題ガ起ルト云フコトハ、實ハ一方ニ於テ世界大戰ノ是ハ影響デアル、其影響ト云フモノガ色々ノ方面ニ於テ——從來ノ經濟上ノ組織、機構ト云フモノニ於テ、思ヒモ及バヌ變化ヲ及ボシツ、アルノデアアルガ、是ハ一人一個ノ頭

腦ヲ以テ如何ニヤルト雖モ、容易ニ是ハ解決スルモノデナイカラ、經濟會議ト云フモノヲ御造リニナッタラドウデアアルカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ、只今モ申上ゲタノデアリマスガ、最近色々ノ思想問題ガ起リツツアリマス、殊ニ愛國の運動ガ非常ニ起ッテ居ル、サウシテ日本帝國ノ臣民ト云フモノハ、全世界ニ於テ第一デアアル、非常ニ日本國民ノ信用ヲ謳ッテ居ル、日本國民ノ頭腦ハ非常ニ優秀ナルモノデアルト云フコトノ理由ヲ非常ニ述ベテ居リマスガ、私ハサウデアルト思フ、今日ノ低金利政策ト云フコトモ、人間ヲ造ルト云フコトガ本デアアル、此間アナタノ言ハレタ勞資協調ト云フコトモ、其處カラ出テ來ル、サウスルトドウシテモ是ハ一ツ智能ノ開發ニ向ッテモ、モウ一段ノ努力ヲ拂ハナケレバナラス、然ルニ今日日本ニハ澤山ノ魚ガアルガ、其取扱ヲ知ラスノデ、ソレキリ日本ノ富ガ葬ラレテ居ル、產金事業ト謂ヒ有ユル事業ハ全ク「エックス」デアアル、此「エックス」ヲ解決スルニハ、特許、發明ト云フコトニ向ッテ非常ナ努力ヲ御注ギニナリマスルコトハ、未ダ埋藏サレタル種々ノ富ヲ「トレート」スル途ノ諸般ノ解決——サウ云フヤウナ「エックス」ヲ開ク上ニ於テ非常

ニ必要デアアル、兎ニ角吾々ハ赤字公債ナドハチトツモ驚カナイ、之ニ對スル對策ガ開ケタナラバ、赤字公債ハマダ三億ヤ五億何トモナイト考ヘテ居リマスガ、茲ニ輸出増進及經濟會議及發明、特許ト云フヤウナモノハ、總テ低金利政策ノ極意カラ現ハレル一ツノ現ハレデアアル、サウシテ又今日ノ種々ノ變化モ、歐洲大戰カラ及ンデ來テ居ルモノデアッテ、其影響ハ極メテ甚デアアル、デアリマスルカラ、是等ノ施設モ十分ニ考慮ヲ費ス必要ガアルト思ヒマスガ、ドウデアリマスカ

○高橋國務大臣 固ヨリサウ云フ施設ノ必要ガアルト私ハ考ヘル、ノミナラズ議院ト云フモノハ、立法府デハアルガ、唯法律ヲ作ルト云フバカリデハイケナイ、矢張立法府トシテハ準行政權ヲ持ッテ居ルト云フ考ヲ以テヤラナケレバ、國家ノ爲ニ十分ニ盡ス譯ニ行カスト思フ、故ニ願クハ議院ノ内ニ、財政經濟ニ付テノ常設委員ナドガ出來タラ宜カラウト私ハ考ヘテ居ル、是等ハ何レ其時ガ來ッテ、人ガアッテ、サウ云フ事モ企テラレルグラウト思ヒマスガ、私一個トシテハ、今御話ノ事ハ御尤デ、サウナケレバナラズ、其上ニドウカ私ハ、議院ト云フモノハ準行政權アリト云フ觀念ノ下ニ國政

ニ參與シテ貰フヤウニナッタラ宜カラウ、斯ウ考ヘテ居ルノデス

○高見委員 是デ私ハ質問ヲ欣然トシテ終リマス、唯私ハ先程來色々ノ議論ガアッテ、大藏大臣ハ樂觀ニ過ギルト云フ人モアルガ、私ハソレデコソ眞ニ大藏大臣デアラウト思フ、大局ノ立場カラ見デ、樂觀ハ吾々贊成デアアル、今日ノ此時局ヲ乘切ルノニハ、矢張り大局ハ樂觀デアル方ガ宜シイ、何モ恐レル事ハナイ、サウシテ日滿經濟ノ統制ヲ圖リ、及ビ南洋、亞弗利加、中央亞細亞、南米方面ニ於テ、日本ノ物資ガ出テ行ク途ハマダ——無盡藏ニ控ヘテ居ルノデアアルカラ、之ニ對スル十分ナル努力ヲ望ム、此二十億ノ大豫算ヲ茲ニ實行サレルニ方ッテ、非常ナル熱ト努力トヲ以テ、所謂莫煩惱獅子奮迅ノ勇氣ヲ以テヤッテ貰ヒタイト云フ、此一語ヲ大藏大臣ノ土手ッ腹ニ一喝ヲ與ヘテ私ハ質問ヲ終リマス(笑聲)

○金光委員長 之ニテ此三案ノ質問ヲ打切リタイト存ジマス、尤モ討論採決前、極メテ短イ質問デアリマスレバ之ヲ許シタイト思ヒマス、沖島君、堀川君等カラ拓務大臣ニ對スル質問ガ保留サレテ居リマスカラ、是ハ討論ノ際ニ許スコトニ致シマシテ、之ニテ質問ヲ打切ルコトニ御異議アリマセヌ

カ

「異議ナシ」ノ聲起ル」

○金光委員長 御異議ナシト認メマシテ質問ヲ打切りマス、次會ハ討論採決ニ入りマスカラ、其御準備ヲ願ヒタイト存ジマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ之ニテ散會致シマス

午後三時二十四分散會

衆議院造幣局工場及其ノ付屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)外二件委員會議錄第八回中正誤

頁	段	行	誤	正
三	四	二三	木ノ生エマセヌ	火ノ入ラヌ
四	一	六	木ノ生エマセヌ	火ノ入ラヌ
四	一	九	兩方カラ	苗圃カラ
四	二	一六	立木地	無立木地
四	二	二三	方面ニ於テモ	方面ノ規定ニ於テモ
四	四	一九	甜菜	根菜
五	一	四	農場ヲ有ッテ	農法ヲ爲シテ
六	二	六	別途支出ノ爲ニ	別途ニ
六	四	九	休店	休轉
六	四	一四	再建	再轉
六	四	二一	只今會社ノ方ヨリ回答ヲ求メ	未ダ會社ノ方ヨリ回答ヲ得ズ